

# 社会貢献通信 11

## 社会貢献通信第 11 弾！

第 11 弾では 2021 年 11 月宮城県丸森町耕野での援農ボランティア活動についてご紹介します。

ユニオン掲示板:⑤  
に貼ってください。  
掲示:次号発刊まで



中央が川村中央執行副委員長

丸森町耕野の方々との出会いを通して初めての体験、経験をさせて頂き、自分自身の人生の中での新しい気づきを学ぶ事ができ充実した活動でした。

(中執 川村孝子)

震災から 10 年の節目ですがメディアからの情報だけでは得難い当時や現在に至る迄の想いや経験を直接伺えて肌で感じる事が出来て満たされた日々感謝の気持ちが生まれた事最大の経験でした。

(中執 木下勝康)



右:皮をむいて、紐につるした柿を燻蒸するために運んでいます

## 2011/3/11 東北地方を震源とする東日本大震災が発生!!

東北地域は震災から 10 年たった今でも完全に復興したわけではありません。2019 年には大型台風が東北地方を通過し、大きな被害も発生しました。私たちはこの記憶を風化させないため、地域の方との交流を通して震災について考える機会をいただいています。



委員長が率先して柿の収穫



枝の選定。あとちょっとで終わり

昨年比べると今年の柿の量はほんとは少ない!!

→ 昨年の様子



11 月の耕野では干し柿づくりが最盛期を迎えます。今年は 4 月の寒波により柿の収穫量が大幅に減少。秋に実をつけた柿を大切に収穫させて頂き、干し柿づくりのお手伝いをさせて頂きながら、いろいろなお話をきかせていただきました。

### 《ボランティアの活動》

- ①木からの収穫
- ②収穫した柿を大きさに分けて選別
- ③乾燥させる際に紐が結びやすいように枝の剪定
- ④ロープに柿を結びつける
- ⑤硫黄で燻蒸し乾燥させる



ビラーで皮むきベテランの域にはまだまだ...



10時と15時にはみんなで休憩！今年の柿の収穫状況や、近くを流れる阿武隈川の氾濫に備えて新しい道ができることなどいろいろなお話をしました。

今回、初めて援農ボランティアに参加しました。地元の方達の生業を実際にお手伝いさせて頂いた中で、ご苦労ややりがいを自分なりに体感し、共有することができました。

(中執 中西昌義)



無心で皮むき作業中...



↑大気中の線量を測っています



阿武隈川沿いの道路は台風で幾度も冠水新しい道路が作られることになりました。



2021 年援農ボランティア参加メンバー(10名) 前列右:いつもお世話になっている川部さん

コロナが終息し、組合員の皆さんが参加できるようになった時には多くの方に復興支援視察研修に参加していただき、現地を体感し、震災について考えてもらいたいです。

編集:社会貢献委員会